

# (社)未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会

## 第37回シンポジウム/第15回超伝導科学技術賞授賞式

主 催： (社)未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会  
協賛団体： (社)応用物理学会、(社)低温工学協会、(社)日本物理学会、(独)科学技術振興機構  
日 時： 平成 23 年 6 月 24 日(金)10:00-17:30 (\* 大震災の影響で4月12日開催を変更しました)  
会 場： タワーホール船堀 小ホール (東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL 03-5676-2211)  
<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

参加費・資料代:

区 分	参加費	講演集代
超伝導科学技術研究会会員	無 料	2,000 円
一 般	5,000 円	2,000 円
学 生(要学生証提示)	無 料	2,000 円
協賛団体会員	4,000 円	2,000 円

参加申込： こちらの HP からお申し込み下さい。

<http://www.sntt.or.jp/~fsst/20110624.html>

問 合 先： (社)未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 担当:大貫

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アマビル 6 階

TEL:03-3503-4681 FAX:03-3597-0535 E-Mail:[fsst@sntt.or.jp](mailto:fsst@sntt.or.jp)

### テーマ： 超伝導 2011 ー新たな 100 年の幕開けー

今回のシンポジウムでは、超伝導マグネット関連技術や超伝導でしか実現できない先端計測技術に関する講演に加えて、午後の部では、**<グリーン・イノベーションと超伝導>**と題し、グリーン・イノベーションに向けた科学的な取り組みを俯瞰しながら、その中で超伝導技術開発と応用の方向性を考えます。低炭素社会実現へ向けた技術開発への我が国としての政策的取り組みなどを御紹介いただくとともに、2050年の社会を想定した科学技術振興機構(JST)の先端的低炭素化技術開発事業(ALCA)における「超伝導システム」及び戦略的イノベーション創出推進(S-イノベ)における「超伝導システムによる先進エネルギー・エレクトロニクス産業の創出」での研究開発の方向性についても御紹介いただきます。皆様には、我が国の目指すところと、そこで超伝導材料・機器が活躍するためにどのような開発が必要となるかについて一緒に議論する機会となることを期待しています。本シンポジウムは、超伝導だけでなく、環境、エネルギーなど様々な研究に携わる方々にも、さらには科学技術に関心ある一般の方にとっても非常に有意義なものと思じます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

#### プログラム(案)

10:00-10:10	開会の挨拶	超伝導科学技術研究会会長	下山 淳一
10:10-11:00	基調講演 (仮) 超伝導マグネット技術	横浜国立大学	塚本 修己
11:00-11:30	受賞講演 (仮) 先進的プラズマ実験装置用高温超伝導磁石の開発		東芝 水牧 祥一
11:30-12:00	受賞講演 (仮) 超伝導センサーによる真の質量分析の実現	産業技術総合研究所	大久保 雅隆

## 12:00-12:30 超伝導科学技術賞授賞式

昼食休憩・展示ポスター見学（60分）

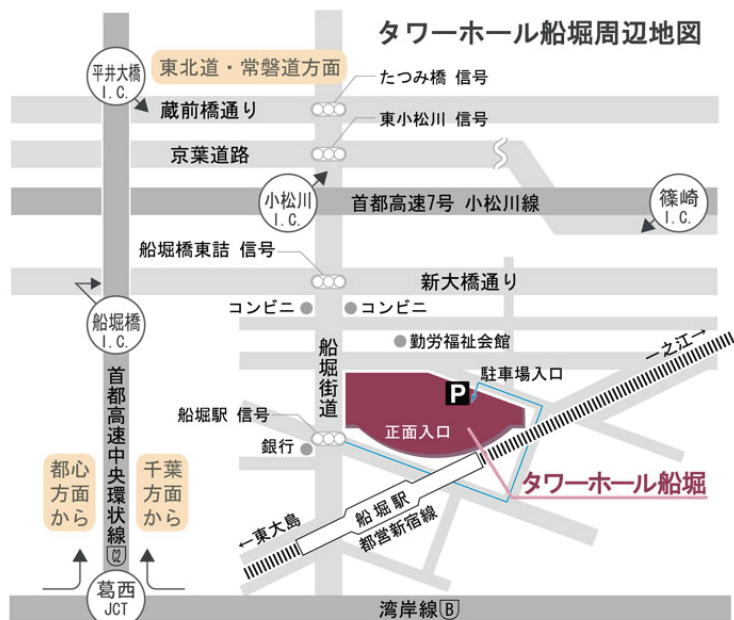
### <グリーン・イノベーションと超伝導>

13:30-13:40	イントロダクトリートーク	物質・材料研究機構	北口 仁
13:40-14:10	経済産業省	産業技術環境局研究開発課研究開発調査官	竹村 文男
14:10-14:40	国土交通省	鉄道局技術企画課技術開発室総括	竹島 晃
14:40-15:10	文部科学省	研究開発局環境エネルギー課地球観測推進専門官	湯本 道明

休憩・展示ポスター見学（20分）

15:30-16:00	JST 先端的低炭素化技術開発事業	科学技術振興機構	佐藤 雅裕
16:00-16:30	JST 戦略的イノベーション創出推進	PO	佐藤 謙一
16:30-17:25	パネルディスカッション	コーディネーター	産業技術総合研究所 小原 春彦
		パネリスト	講演者、東大 下山他
17:25-17:30	閉会の挨拶	未踏科学技術協会理事長	木村 茂行

### ■ 会場交通案内 タワーホール船堀 5階 小ホール



#### <<電車をご利用の場合>>

- ・新宿駅より「都営新宿線」にて本八幡方面へ約30分。船堀駅下車、徒歩約1分。
- ・東京駅より「JR総武快速線」馬喰町駅にて乗換。馬喰横山駅から「都営新宿線」で船堀駅下車、徒歩約1分。